

上関地点 2024年度 下半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較して顕著な変化は見られなかった。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事排水の水質	10月3日 11月12日 12月10日 1月6日 2月17日 3月10日	水素イオン濃度、浮遊物質量ともに管理目標値内であった。			-
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	7.1~7.7	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質量 (日平均値)	6mg/L以下	150mg/L以下	
陸生生物	ハヤブサ	2月26日 3月11、28日	鼻繰島において、各月で雄、雌の親鳥を確認した。 なお、親鳥による抱卵行動は確認されていない。			写真1
海生生物	潮間帯生物	9月30日 10月1~2日	植物ではヒジキ、イワノカワ科など32種、動物ではイタボガキ科、カメノテなど41種を確認した。			写真2
	海藻草類		クロメ、サビ亜科など36種を確認した。			
	底生生物		ムラサキウニ、アカウニなど4種を確認した。			
	スナメリ	10月、3月 (週1回・計9日) (10月1回を追加) ^{※1}	確認回数は計18回、延べ41頭を確認した。			-
	カクメイ科等の貝類	12月2~4日 2月12、13日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 タイドプール ^{※2} 2箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所での調査を実施した。			-

※1 台風10号の接近に伴い、8月調査(1回)を10月に延期

※2 タイドプール:干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

【参考】

《環境監視調査計画以外の環境調査》

- カンムリウミスズメ(写真3)
1月に2個体(叶島の西)を確認した。
- カラスバト(写真4)
鼻繰島において、10月、2月、3月に姿および鳴き声、1月に姿を確認した。
計画地点においては、確認されなかった。
- ミサゴ(写真5)
鼻繰島において、2月、3月に親鳥(雄、雌)を確認した。
天田島においては、確認されなかった。
- クロサギ(写真6)
鼻繰島において、12月、1月、2月、3月に既知営巣地周辺の岩場等で1羽を確認した。

【調査写真】

写真1:ハヤブサ



親鳥(雌) (2月26日)



親鳥(雄) (3月11日)

写真2:潮間帯生物、海藻草類、底生生物



ヒジキ(9月30日)



カメノテ(10月2日)



クロメ(10月1日)



ムラサキウニ(10月2日)

写真3:カンムリウミスズメ



(1月14日)

写真4:カラスバト



(10月24日)

写真5:ミサゴ



(3月11日)

写真6:クロサギ



(3月24日)